

IV 初期研修の評価・修了規定

1. 厚生労働省が定めた「初期臨床研修における到達目標」

- A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナルリズム） 4項目
- B. 資質・能力 9項目
- C. 基本的診療業務 4項目

経験すべき症候 29症候

外来又は病棟において、指定された疾病・病態を有する患者の診療にあたる。

ショック、体重減少・るい瘦、発疹、黄疸、発熱、もの忘れ、頭痛、めまい、意識障害・失神、けいれん発作、視力障害、胸痛、心停止、呼吸困難、吐血・喀血、下血・血便、嘔気・嘔吐、腹痛、便秘異常（下痢・便秘）、熱傷・外傷、腰・背部痛、関節痛、運動麻痺・筋力低下、排尿障害（尿失禁・排尿困難）、興奮・せん妄、抑うつ、成長・発達の障害、妊娠・出産、終末期の症候

経験すべき疾病・病態 26疾病・病態

外来又は病棟において、指定された疾病・病態を有する患者の診療にあたる。

脳血管障害、認知症、急性冠症候群、心不全、大動脈瘤、高血圧、肺癌、肺炎、急性上気道炎、気管支喘息、慢性閉塞性肺疾患（COPD）、急性胃腸炎、胃癌、消化性潰瘍、肝炎・肝硬変、胆石症、大腸癌、腎盂腎炎、尿路結石、腎不全、高エネルギー外傷・骨折、糖尿病、脂質異常症、うつ病、統合失調症、依存症（ニコチン・アルコール・薬物・病的賭博）

必須項目：

- 1) 病歴要約の作成
- 2) 「経験すべき疾病・病態」の中の少なくとも1症例は外科手術に至った症例を選択。

経験すべき診察法・検査・手技等

- ①医療面接
- ②身体診察
- ③臨床推論
- ④臨床手技
- ⑤検査手技
- ⑥地域包括ケア・社会的視点
- ⑦診療録

初期研修修了規定

※修了規定 1, 2 を基に、医師臨床研修管理委員会で修了判定を行う。

修了規定 1. 長崎大学病院が定めた「初期臨床研修における到達目標」

赤文字※・・・必須

青文字・・・努力目標

(2024年2月作成) 変更が生じた場合は都度連絡します。

EPOC・スプレッドシートへ入力

参加項目	修了条件
グラウンドラウンド (院内)	年10回以上出席すること。
院内勉強会 (大学外)	
実力アップセミナー	年2回以上出席すること。
学会発表 (院内発表も含む)	1回以上発表 (スライド等提出)
CPC	発表(1回)+ 参加(発表時を除く1回以上)
災害研修	必ず参加すること。(6~7月実施予定)
院内 BLS	修了すること。(オリエンテーション時)
ICLS	修了すること。(年3~4回実施予定)
ジャンプ OSCE	修了すること。(2月実施予定)
接遇研修	受講すること。(オリエンテーション時)
外来研修 ※EPOCへ入力	40日 (少なくとも20日以上)
予防医療 (予防接種を含む)	予防医療の講義またはワクチン接種業務
虐待	グラウンドラウンド「虐待への対応について」を受講すること。
社会復帰支援	退院支援カンファ等、多職種でのミーティングに参加すること。
緩和ケア	原則、緩和ケアセンター主催の緩和ケア研修を受講すること。やむを得ず緩和ケア研修を受講できない場合はグラウンドラウンドの「緩和ケアについて」を受講すること。
アドバンス・ケア・プランニング (ACP)	7月開催予定のポートフォリオ作成講習会にて受講すること。
在宅医療研修	1回以上は、経験すること
インシデントレポート作成	4回以上 (努力目標 年10回以上)
病理検討会 (カンサーボード等)	医療教育開発センター主催のCPCを除く
院内 JATEC	修了すること。
院内 IVH シミュレーション実習	修了すること。
担当する委員会 ()	委員会に参加し、研修医へ情報共有すること。
児童・思春期精神科領域 (発達障害等)	発達障害等について、支援のあり方、初期対応や心理士との連携について学ぶ。
薬剤耐性菌	薬剤耐性に関する講義を受講する。薬剤耐性の状況把握と対策を実践する感染症制御チーム等に参加する。
ゲノム医療	ゲノム医療の論文を用いた抄読会、又はゲノム医療の講演会や学会に参加する。
診療領域・職種横断的なチームへの活動参加	感染制御チーム、緩和ケアチーム、栄養サポートチーム、認知症ケアチーム、退院支援チーム等へ参加する。

医療教育開発センターで確認

参加項目	修了条件
基本的臨床能力評価試験	原則2年次に受験すること。(1月実施)
インシデントレポート閲覧	40回以上(努力目標 1日1回) ※インシデントレポートに自動記録
オリエンテーション(全体)	指定するオリエンテーションに参加すること。
臨床研修指定病院集団指導	必ず受講すること。
医療教育開発センターとの面談	半年に一度、面談を行うこと。
カウンセラー面談	カウンセラーとの面談を行うこと。
ポートフォリオ作成講習会(缶詰)	必ず参加すること。(1年次7月、11月)
研修修了式	研修修了式に参加すること。(2年次3月)

書類作成数(作成したらスプレッドシートへ入力)

	作成する書類	
1)	退院時マリー作成数	
2)	診断書作成数	
3)	死亡診断書作成数	
4)	死亡診断立会数	
5)	紹介状・返書作成数	
6)	紹介状・返書受取数	
7)	手術記録作成数	

経験数(経験したらスプレッドシートへ入力)

	経験すること	
1)	分娩助手回数	
2)	気管挿管症例数	
3)	他科へのコンサルテーション	
4)	受持ち患者のMSWへのコンサルテーション	

2年次においては、採用された病院の諸規程に従うこと。

なお、プロフェッショナリズムに反する行為や社会的に違法となる行為があった場合は、研修を修了出来ない場合がある。研修修了要件の講義について、参加姿勢など問題があると評価された場合は、参加と認めないことがある。